

令和8年度 園経営計画 足立区立平野保育園

園長 峯岸 幸子

1 園の経営目標

- (1) 保育者は、子ども一人一人の思いを大切に子どもの人権を尊重し、保育者との関わりの中で、子どもが安心感と信頼感をもつ。
- (2) 保育者は子どもが遊びたくなる環境を構成し、知的好奇心を育み、自己発揮できる子どもを育てる。
- (3) 保育者が子どもの姿を保護者と共有し、保護者の思いに寄り添いながら子育てを支えていく。

2 園の現状

- (1) 保育者が一人一人の子どもの思いに寄り添い、子どもがしたいことをていねいに聴き、あるいは読み取り、子どもが夢中になって遊べるための環境や関わり方を考えて対応している。保育者同士の連携も良く、子どもたちが好きな場所で十分に遊ぶことができている。
- (2) 保育者が園での子どもの様子や出来事を保護者にていねいに伝え、保護者とのコミュニケーションを図ろうと意識を高めて対応している。子どもたちが「保育園に行きたい」と言って安心しているという保護者からの声を聞いている。保育参観・参加や保護者面談、親子で参加する行事などでより園のことを知る機会となっている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	絵本に親しみ、豊かな感性を育む。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 絵本を読んでもらう心地よさを知り、想像する楽しさや物語の面白さを感じる。	ア 季節や子どもの興味・関心にあった絵本の環境を計画的に整える。子どもが好きな絵本を手にとれる環境をつくる。 イ 絵本に関心をもつ子どもの姿を職員間で共有し、絵本の設置や読み方について、年3回の職員研修を行う。
(2) 家庭でも絵本を楽しむ時間を大切にし、親子の関わりを深める。	ア お便りや掲示から親子で絵本を読む大切さを伝える。 イ 読みたくなる絵本を紹介し、絵本への関心を高める。 ウ 絵本の貸出を継続し、家庭での読書習慣につなげる。
(3) さまざまな絵本に出会い、読む楽しさを広げる。	ア 「保塚図書館訪問おはなし会」「読み語りキャラバン隊」などの関係機関による読み語りを年4回実施する。 イ 図書館の絵本を借り、たくさんの絵本の中から好きな一冊に出会う機会をもつ。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	自然との出会いを大切にした環境をつくる。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 花壇の草花やプランターの野菜作りを通して、知的好奇心を高める。	ア 土や植物(草花・野菜)を見て、嗅ぐ、触る、重さを感じるなど五感を使って、自然物との触れ合いを体験する。 イ 植える・育てる・収穫する・食べるといった過程を大切に、自然の変化や生き物の不思議さに気づき、共有していく。
(2) 日常的に自然の変化や生き物の営みを感じ、身の回りへの関心を深める。	ア ビオトープを作り、自然物で遊べる環境を整える。 イ 生き物の姿に関心がもてるよう用具や教材を用意し、子どもたちと一緒に観察したり調べたりする。 ウ 植物や生き物の種類、見つけた場所などを共有し、生き物への親しみをもつ。